

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・文化芸術活動(鑑賞を含む)を行う市民の割合 ・文化的な環境への満足度 ・観光入込客数 ・障がい者として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合	作成日	R6.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	文化政策課	評価日	R7.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
1	市民が文化芸術に気軽に鑑賞・体験・創作・発表できる機会を充実させます。	政策2-1-①	新潟市美術展などの公募事業の応募者数	980人 (令和5年度869人)	791人	新潟市美術展開催事業 にいがた市民文学発刊事業	美術を愛好する市民の創作作品を発表する場として「新潟市美術展」を開催します。また、文芸活動の振興を図り、創作意欲を高めるため、文芸作品を募集・審査し、「にいがた市民文学」を発刊します。	○にいがた市民文学404人(前年度比較 ▲54人) 一般の部 応募者数222人(▲20人) 青春の部 応募者数182人(▲34人)  ○新潟市美術展387人 前期展示R6.9.11~9.15(洋画・彫刻・工芸・版画) 後期展示R6.9.18~9.22(日本画・書道・写真) 応募者数一般357人(▲16人)、18歳以下30人(▲8人) (前年度比較 ▲24人) ・洋画132人(▲9人) ・日本画35人(+11人) ・書道57人(±0) ・工芸25人(▲9人) ・版画26人(▲10人) ・写真101人(▲25人)	○にいがた市民文学 ・引き続き句会などのサークルや、中学校・高校へ直接働きかけるほか、新たな部門の創設により、書き手の裾野の拡大に取り組みます。  ○新潟市美術展 ・美術講座の受講者が応募に繋がっているため、引き続き市民向け講座を実施します。 ・運営委員会で作品規定、会期の見直しを検討します。
2	次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造力を育むため、文化芸術を鑑賞・体験する機会を充実させます。	政策2-2-①	オーケストラはキミのともだち	・参加者数 2,850人 (令和5年度2,848人)	3,053人	子どものための芸術文化体験事業	日頃、文化芸術に接する機会の少ない子どもたちに鑑賞・体験機会を提供するため、プロオーケストラによる演奏会などを開催するほか、小学校へのアウトリーチを実施します。	○「オーケストラはキミのともだち」コンサート ・第1回3歳以上入場可・第2回小学生以上入場可 参加者数:3,053人 ・お仕事体験とバックステージツアー 小学校4~6年生20人参加 ○学校訪問(音楽アウトリーチ) R6.6.17~6.20 45校 参加児童数:2,995人	引き続き、東京交響楽団楽団員によるアウトリーチを実施し、質の高い演奏を間近で体験してもらうことで、クラシック音楽への興味関心を高め、コンサートへの参加を促進します。 また、校長先生をコンサートへ招待し、事業周知を図ることで、児童や先生方への積極的な働きかけや次年度以降のアウトリーチ実施につなげます。

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標		主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)			
			参加者の文化・歴史関連の活動回数が増加した人数の割合	70% (令和5年度73%)	63%	子ども向け文化プログラム体験事業	本市の文化や歴史などへの子どもたちの興味・関心を醸成するため、小学校6年生～中学2年生を対象に、まちなかの文化・歴史に着目したツアー形式の体験プログラムを実施します。	プログラム実施後のアンケートでは、7割以上が歴史や文化に興味をもったと回答したが、活動の増加にはつながらなかった。	新たな体験メニューの実施など内容の充実を図るほか、事業終了後、参加者への文化・歴史に関する情報提供に努めます。
3	みなとまち文化や踊り文化、マンガ・アニメ文化、鉄道文化などの人を引きつける特色のある文化をさらに磨き上げ、観光や産業、まちづくり分野などの振興に役立てます。	政策2-4-①	マンガ・アニメの活用推進に向けた意見交換会の開催回数	4回	4回	マンガ・アニメのまちづくり推進事業	マンガ・アニメが持つ表現力・伝達力をビジネスや生活シーンなどで活用していくために、官民連携によるプラットフォームを構築し、活用推進に向けた意見交換を実施します。	○ 官民連携によるプラットフォームを立ち上げ、活用推進に向けた意見交換を実施することができました。	今後は、意見をブラッシュアップし、事業の実施に向けた調整を関係団体と図っていきます。
4	国際交流、福祉、教育などの分野と連携・協働し、相互理解や豊かな表現力が地域で育まれるよう、多様な価値観を包摂する文化芸術特性を幅広く活用していきます。	政策2-4-②	文化芸術による共生社会推進事業への障がい者施設等の参加件数	46件 (令和5年度69件)	61件	文化芸術による共生社会推進事業	障がい者施設等と文化芸術団体の交流支援などを通じて、障がいのある人とならない人の相互理解を深める環境づくりに取り組みます。	○ 〇表現活動調査57件 (前年度比較 △ 8件) ○ 〇交流支援 4件 (前年度比較 0件)	交流支援制度の活用が増加するよう、広報を前倒しするなど周知方法の工夫を図ります。
5	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制の整備上及び運用上の不備件数	0件 (令和5年度1件)	0件	内部統制の推進	内部統制制度に基づき、PDCAサイクルを機能させ、事務の適正執行の有効性・実効性を高めていきます。	○ 内部統制の整備上及び運用上の不備は生じていません。	引き続き内部統制制度に基づき、PDCAサイクルを機能させ、事務の適正執行の有効性・実効性を高めていきます。

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R6.4.26
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	新潟市美術館	評価日	R7.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)				概要
1	展覧会やイベントの充実、ショップ設置などで魅力を高め、利用者を増やし、来館者満足度の向上を目指します。	政策2-1-①	・入館者数(人)	27,000	33,004	・展覧会開催事業	・企画展及びコレクション展を開催するとともに、関連する各種講座等を開催します。(令和6年度は大規模改修工事のため全3展)また、ミュージアムショップやカフェとの連携を通して、来館者の満足度を高めます。	○	入館者数について、「もしも猫展」「遠藤彰子展」の企画展や「コレクション展」「新潟市美術展覧会」の開催を通して、目標の入館者数を達成しました。 アンケートについては、期間を通して目標を達成しました。	展覧会や関連イベントの充実、カフェとの連携などにより、美術館の魅力を高め、利用者増や来館者満足度の向上を目指します。
			・来館者アンケート(5点満点)	4.5	4.5					
2	学校や地域等と連携し、子どもたちが美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	政策2-2-①	・学校連携事業や教育普及事業等の実施回数(回)	20	34	・教育普及事業	・アートリップや子どもスタンプカードを実施します。また、美術講座、実技講座等を開催します。(令和6年度は大規模改修工事のため例年に比べ回数減あり)	○	アートリップを6校で実施したほか、美術講座、実技講座、企画展関連事業、工事休館中に行った出張授業を5校で実施し、目標を達成しました。	学校連携事業や教育普及事業等を実施し、美術に触れる機会を充実や市民に親しまれる美術館づくりを進めます。
3	新規来館者数を増やし、リピーターを獲得するための仕組みづくりや、運営の工夫で収益の向上を目指します。	行財2-1-①	・あっちも割利用観覧者数(新潟美術館の企画展観覧券半券提示により、市美術館の企画展を団体料金で観覧した人の数)	90	119	・美術館管理運営事業	・新潟美術館との相互利用の促進するとともに、西大畑旭町文化施設協議会との連携やSNSなどの活用を通して、新規来館者増を目指します。(令和6年度は大規模改修工事のため期間半減)	○	新潟市美術館と新潟美術館の企画展の時期や内容、組合せ等により利用人数は変動しますが、今年度は目標を上回る利用がありました。	あっちも割をSNSなどで発信、周知を図り、来館者増を目指します。
4	職員等に職場研修を行うとともに、館外研修に職員等を積極的に派遣し、資質向上を図ります。	行財1-4-①	・研修受講者数(延人数)	25	33	・美術館管理運営事業 ・調査研究事業	文化庁等の学芸に関する専門的な研修に派遣するとともに、庁内の財務、文書管理等の研修に参加します。	○	学芸業務に関する専門研修の他、財務や広報、福祉に関する研修等を受講し、目標を達成しました。	職員の能力・資質の向上を図るため、積極的に研修参加を行っていきます。

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R6.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	新津美術館	評価日	R7.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)				概要
1	展覧会や関連催事の充実を図り、優れた芸術に触れる機会を提供することにより、多くの市民から親しまれる美術館になることを目指します。	政策2-1-①	美術館入館者数(人)	70,000	91,648	企画展等の開催	企画展、その他の展覧会、ミュージアムコンサート等を開催します。	○	企画展や秋葉区展、教育アート展などを開催し、目標数を大きく超えて、多くの方々から入館いただき、芸術に触れる機会を提供することができました。	今後も展覧会等を企画し、多くの方から来館いただくことで、美術に触れる機会を提供していきます。
2	学校や地域等と連携し、子どもを含む市民が美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	政策2-2-① 行財3-2-②	普及事業の実施回数(回数)	30	39	教育普及事業の実施	美術講座、出前美術館、博物館実習及び職場体験の受入等を行います。	○	美術講座、出前美術館、博物館実習及び職場体験を通じ、美術に関する知識・技術の普及を図りました。	学校や地域と連携し、美術教育の普及に努めていきます。
3	広報活動を積極的に行い、美術館や展覧会の認知度を高めます。	行財1-1-①	ホームページ、SNS(フェイスブック、X、インスタグラム)の更新回数	100	208	SNS等を活用し、美術館に関する情報を発信	企画展の内容や、関連イベント等の情報を発信し、誘客に努めます。	○	ホームページをはじめ、インスタグラムやXなどのSNSを活用し、目標を大きく超える情報提供を行いました。	伝える情報の内容も工夫しながら、美術館の魅力発信に努めていきます。

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	観光入込客数 ・地域の文化的な環境への満足度 ・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R6.4.1
	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	歴史文化課	評価日	R7.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)				概要
1	新潟市の歴史・文化の特性を物語る文化財を着実に次代へ継承できるよう、関係者と連携・協議しながら計画的に保存に向けた整備や調査を行います。	政策2-3-①	・文化財保護調査件数	60	80	・旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業 ・旧笹川家住宅保存整備事業 ・文化財保護調査事業	・文化財の調査等	○	文化財所有者からの相談に対し、現地調査や助言など、必要な支援を行いました。 また、能登半島地震で被災した旧笹川家住宅や旧齋藤氏別邸庭園等の調査や応急修繕を行うとともに、被災文化財等への建築士等の派遣制度への調整を行いました。	引き続き、文化財所有者への支援や助言を行い、関係機関や団体とも連携して、文化財の保存・継承を進めていきます。
2	国民共有の財産である埋蔵文化財が適切に保護されるよう、各種開発事業に即した保護協議を行います。	政策2-3-①	・県営ほ場整備に伴う試掘・確認調査	県から要望の出ている県営ほ場整備予定地区のうち、4地区以上、計200ha以上	3地区 200ha	・試掘・確認調査(開発事業) ・試掘・確認調査(ほ場整備事業)	県他関係団体と調整し、県営ほ場整備予定地区を対象とした試掘確認調査を実施 国庫補助の範囲内で最大限要望に応えます。	○	県から要望に合わせ阿賀満・小杉・三方各地区を対象に試掘確認調査を実施しました。3地区に絞って、国庫補助額の範囲内で最大限の対象面積200haの試掘調査を実施しました。	引き続き県をはじめ、関係団体・地元農家と協力関係を築きながら着実に試掘確認調査を進めていきます。
3	各施設における様々な展示等を通じて、本市の歴史や特色を広く発信し、交流人口の拡大を図ります。	政策2-4-①	・歴史博物館の入館者数(人) ・旧小澤家住宅の入館者数(人) ・新津鉄道資料館の入館者数(人)	85,000 15,000 51,000	89,442 14,872 43,550	・博物館管理運営事業 ・日本遺産「北前船」を活かしたみなとまち文化発信事業 ・旧小澤家住宅管理運営事業 ・新津鉄道資料館管理運営事業 ・新潟ならではの鉄道コンテンツによる誘客促進事業	・歴史博物館「北前船と新潟」展、むかしの暮らし展、「石川侃齋」展、各種講座等、北前船をテーマにしたツアー ・旧小澤家住宅「新潟歴史玉手箱」展、「民藝」展、「桜井進一氏写真展」、各種講座等 ・新津鉄道資料館「SLばんえつ物語-25年の軌跡」展等	△	歴史博物館では日本遺産「北前船」を活かした企画展「北前船と新潟」展などを開催し、年間目標来館者数を達成しました。 旧小澤家住宅では、新発見の本市関連資料の展示をし、工夫を凝らした企画を行いました。結果として、目標数値を下回りました。 新津鉄道資料館では、前半においてはSLばんえつ号運行25周年に関する特別展などで前年より好調な出足でしたが、後半伸び悩んだことから、前年度を割り込む入館者となりました。	歴史博物館では今後も地域の歴史を題材とした体験型の企画を実施するほか、展示や講座など多角的な手法で本市の魅力を引き続き発信し、交流人口の拡大を図ります。 旧小澤家住宅では、予定された企画展やイベントを着実に実施し、集客に努めます。 新津鉄道資料館では、年度末に導入した新シミュレータを活かし、誘客に取り組めます。
4	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制運用上の不備報告件数(件)	0	0	公平・公正な入札事務等の実施	内部統制制度におけるリスク管理を基に、日々の会計処理においてダブルチェックの徹底等により、内部統制運用上の不備発生を防止します。	○	国庫補助金申請事務手続きに必要な事務手続きが一時的に滞っていたが、関係各署の協力を得て最終的には適切な事務処理を行うことができた。	当年度の国庫補助金申請事務及び翌年度の国庫補助金要求のための年間スケジュール表を作成し、グループ内で情報共有を図ったうえで、進捗管理を徹底していく。

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・地域の文化的な環境への満足度 ・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R6.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	歴史文化課 文化財センター	評価日	R7.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)				概要
1	文化財センターで多様なテーマの企画展や講演会、現地説明会等を開催するほか、学校や地域に向向いて講座等を開催して、文化財に対し関心・理解を深めていただけるよう努めます。	政策2-3-①	・文化財センター入館者数(人)	8,000	6,060	・企画展(年2回)及び関連講演会の開催 ・各種講座の実施	・企画展及びそれに関連する講演会を開催します。 ・民俗講座などの各種講座等を実施します。	△	入館者数は前年度より増加したものの、以前のよう な人の流れは戻らず目標を達成することはできませんでした。 現地説明会は、悪天候の影響もあり参加者数は伸びなかったものの、多くの地域住民の方から遺跡に対する関心を持っていただいた。 速報会では、オンライン配信がなくなったものの、昨年度より多くの方から会場に来ていただきました。 各種出前講座では、小学校での講座実施後、興味を持った子どもが家族で来館するなど入館者増につながりました。	引き続き、市内における貴重な遺跡の発掘調査・研究を確実に行うとともに、その成果を活用して、市民の皆さんから本市の文化財に対して広く関心・理解を深めてもらえるよう、分かりやすくて親しみやすい情報発信(企画展や各種講座等の開催など)に努めていきます。 また、将来を担う子どもたちが地域の文化財に誇りと愛着を持てるよう、出前講座の実施などにより、引き続き学校への働きかけに取り組んでいきます。
			・遺跡発掘調査現地説明会参加者数(人)	320 茶院A:120 馬堀上組:100 五番田:100	205 茶院A:57 馬堀上組:46 五番田:102	・遺跡発掘調査現地説明会の開催	・当該年度における遺跡発掘調査の成果を示す現地説明会を開催します。			
			・遺跡発掘調査速報会参加者数(人)	160	100	・遺跡発掘調査速報会の開催	・当該年度における遺跡発掘調査の成果を報告する速報会を開催します。			
			・各種出前講座参加者数(人)	1,000	1,582	・出前講座の実施	・学校等からの依頼に応じた各種出前講座を実施します。			
2	国史跡古津八幡山遺跡の認知度を高めるために各種イベントを開催するとともに、企画展や講演会等を開催し、史跡の理解を深めることに努めます。	政策2-3-①	・史跡古津八幡山弥生の丘展示館入館者数(人)	30,000	22,906	・企画展(年2回)及び関連講演会の開催	・企画展及びそれに関連する講演会を開催します。	△	組織目標No.1同様、入館者は前年度より増加したものの、目標を達成することはできませんでしたが、近隣施設と連携した「まいぶん祭り」では多くの方から来館いただき、各種イベント等の参加者は目標を上回りました。	令和7年度は史跡指定20周年、歴史の広場供用開始10周年にあたるため、より一層広報に努め史跡の魅力を多くの方に伝えていきます。 また、弥生時代の魅力をさらに発信しようとした「弥生の御朱印巡り」に引き続き取り組むとともに、近隣施設との連携を図りながら史跡の認知度向上と入館者の増加に努めます。
			・各種イベント等参加者数(人)	400	1,121	・各種イベント等の実施	・発掘体験など各種イベント等を実施します。			
3	本市の貴重な文化資産である史跡や遺跡を適切に保存・活用するため、発掘調査における正確な設計と公平・公正なや入札を実施し、市民に信頼される市政の推進に努めます。	行財1-1-①	・内部統制運用上の不備報告件数(件)	0	0	・埋蔵文化財等本格発掘調査事業	・確認調査及び発掘調査において正確な設計と公平・公正な入札を実施します。	○	チェックリストの作成や複数人での確認を実施することにより、内部統制運用上の不備報告は0件でした。	引き続き適正な事務の執行に努めることで、市民から信頼される市政運営に努めていきます。

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・地域の文化的な環境への満足度	作成日	R6.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	歴史文化課・文書館	評価日	R7.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)				概要
1	文書館で保存する歴史公文書等を市民共有の知的資源として、適切に保存・利用提供します。	政策2-3-①	利用提供数(件)	230	270	適切な資料提供の実施	文書館の事業内容を周知し、特定歴史公文書を適切に市民の利用に供します。	○	市民への周知が広がってきたこともあり、利用提供数は、目標数値を上回ることができました。 能登半島地震における資料レスキューのチラシや市報での文書館特集などにより、資料調査依頼が増え、目標を大きく上回る訪問調査ができました。  各種講座や教員向け研修会の資料作成などに合わせて各々が積極的に事前審査を行いました。	公式Instagramの充実などにより、利用者数及び提供数を増やしていきます。  依頼による資料調査だけでなく、計画的・主体的な資料調査を実施していきます。  講座や企画展で使用する資料について、引き続き事前審査を行うとともに市民からの申請に関連する資料がある場合も事前審査を行うよう心掛けます。
			個人宅等への資料調査の件数(件)	5	11	計画的な資料調査の実施	年度当初に、文書群台帳などから訪問先を選定し、主体的に資料調査を実施していきます。			
			特定歴史公文書の事前審査を行った回数(回)	15	25	講座・企画展・資料調査等と関連させた事前審査の実施	簡易閲覧の資料を増やすため、機会を捉えて、特定歴史公文書の事前審査を行います。			
2	本市の歴史や歴史に関する資料等に興味をもってもらえるよう、歴史講座の開催や文書館が所蔵する資料展示により情報を発信します。	政策5-2-②	講座の開催回数(回)	10	13	参加者にとって分かりやすく参加しやすい講座の計画・実施	昨年度のアンケートを講座実施計画に活かし、より参加しやすい講座にします。内容については、各担当が学芸的職員と連携しながら、プレゼンや配付資料等の工夫をしています。	○	館内での事前検討・起案・リハーサルなどにより、担当だけでなく他の職員も含めて、内容の向上と進行の工夫に努めました。	外部からの講師依頼に対しては積極的に応じていきます。文書館主催の講座については、各担当と学芸的職員が連携し、内容の充実(プレゼン・配付資料)を図っていきます。
3	教職員や児童生徒に、文書館を(施設として、職員を、所蔵資料を)活用してもらえるよう、学校との連携を強化します。	行財3-2-③	学校の授業・校外学習等で文書館を利用する学校数(校) ※職員の派遣も含む	5	6	学校向けの文書館広報の発行	文書館と学校の連携促進を図るため、学校向けの広報紙を作成し、市内各学校へ送付します。校長会や地域教育コーディネーター研修等の場を活用した情報発信も行います。	○	学校関係者と接する機会に文書館のパンフレットやチラシ等を送付(配付)しました。出前授業や職場体験の他、12月には「市小教社会部」の研修会で、授業で使える資料の紹介を行うなどし、利用学校数が増えました。	文書館を活用した研修などが今後も継続して行われるよう、市小研社会部や北区教育支援センター、各学校との連携を大切にしていきます。

# 組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・週1日以上スポーツをする市民の割合 ・スポーツ環境への満足度	作成日	R6.5.23
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	スポーツ振興課			評価日	R7.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)				概要
1	スポーツと地域の関わり、スポーツの多様化や少子化による影響など、取り巻く環境の変化に対応しながら、関係者と共にスポーツ環境の充実や指導者の育成など、ハード・ソフト両面から市民スポーツ活動を支えます。	政策3-1-②	市内のスポーツ施設利用者数(人)	2,880,000人	3,514,264人	スポーツ施設管理運営委託費	指定管理制度により所管するスポーツ施設の管理運営を行い、各区所管課、指定管理者や関係機関と情報交換・連携しながらスポーツ施設の利用促進を図ります。	○	コロナ禍以降、順調に利用者数は推移し、大幅に改善しました。	引き続き、指定管理者制度により魅力ある施設運営を行います。
2	新潟市の持つ魅力を活かした、国際・全国大会や合宿の誘致、イベントの開催により、スポーツを通じた交流を推進し、地域や経済の活性化につなげます。	政策3-3-①	主要スポーツイベント参加者数(エントリー数)	12,400人	11,787人	新潟シティマラソンの開催	新潟シティマラソンでは、フルマラソン、ファンラン、ユニバーサルランの3種目を実施するとともに、今年度は佐渡トキマラソンとの連携を通じ、本市の魅力発信や交流人口の拡大を図ります。	×	目標値を下回ったものの、前年比+1,331人と増加しました。	前回大会の振り返り等を踏まえた、ランナー満足度を高める取り組みを促進するとともに、時代に合わせたSNS広告の展開や、海外ランナーへの大会周知を各関係団体を通して強化していきます。
3	将来の活躍が期待されるジュニア選手の育成・強化や、指導者の育成・資質向上、障がい者の競技スポーツの普及促進を図ります。	政策3-2-①	障がい者スポーツ全国大会等参加激励金支給件数	7件	8件	障がい者スポーツ大会関連事業	新潟県とともに新潟県障害者スポーツ大会を開催するほか、全国大会への選手派遣を行うなど、障がい者スポーツの普及促進を図ります。	○	目標を達成するとともに、障がい者の積極的な社会参加や、国際・全国大会等への着実な出場を促すことで、障がい者スポーツの競技力向上を図ることができました。	体育施設におけるボッチャやフライングディスクの貸出事業や各種団体による障がい者スポーツイベントの支援により、更なる競技人口の拡大を図るとともに、激励金制度の活用を促していきます。
4	公共施設の経営改善を進めることで、その効果を、施設の建替えや改修などに必要な費用に充てられるよう、また、他の公共サービスなどへの原資にもなるよう、施設運営経費の削減に取り組みます。	行財2-2-①	受益者負担割合	市の方針で示される受益者負担率	市の方針で示された受益者負担率に基づき、使用料金を改定	公の施設に係る受益者負担の設定基準	公の施設に係る受益者負担の設定基準に沿った使用料金改定を行います。	○	市の方針で示された受益者負担率に基づき、スポーツ施設の使用料金を改定しました。	使用料の値上げだけでなく、公共施設の経営改善を進め、サービスの質を落とさないよう施設運営に取り組んでいきます。